

 ユシロ化学工業株式会社

第89期

報告書

2021年4月1日▶2022年3月31日

The Way
Of Mutual
Progress

証券コード:5013

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は70有余年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

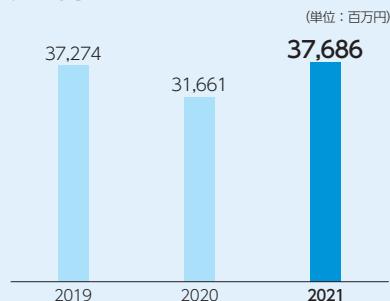
ユシロ化学は2022年1月より有坂昌規を新たに代表取締役社長とする新体制をスタートいたしました。



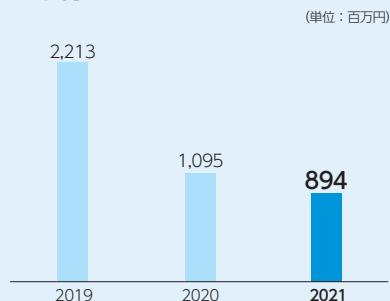
代表取締役社長
有坂 昌規

連結財務ハイライト

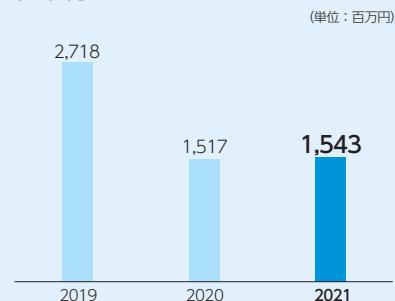
売上高



営業利益



経常利益



全ての人たちを 「共々の道」で幸せに。

～社会発展を持続可能にするグローバルケミカルカンパニーへ～

ユシロ化学工業は、1944年の創業以来、繊維産業、鉄鋼産業そして自動車産業と日本の基幹産業の大きな変遷に対して、金属加工油剤の国内トップメーカー、またフロアワックスのメーカーとして、社会発展を持続可能にする為に大きな役割を果たしてまいりました。

当社の企業理念である『共々の道』は“ユシロにかかわる全ての人々が幸せになれるように”との創業者の思いや夢が込められています。この思いを常に忘れることなくステークホルダーの皆様が幸せになって頂く為に、国内事業の拡充を進めてまいりました。そして、創業者の願いでもあったグローバルでの『共々の道』を実現すべく1973年のブラジルをスタートに、アメリカ、中国、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、メキシコそしてベトナムとその裾野を広げてまいりました。2018年には航空機分野・医療分野に強みがあるアメリカの金属加工油剤メーカー「QualiChem社」をユシログループに迎えました。

また、当社は蓄積された経験と高い技術力で今までとは全く異なる分野への挑戦を続けており、その成果が自己修復性ポリマーゲル、自己修復性エラストマーという新しい製品として形になりました。

加えてB to B to C製品の開発にも注力しており、今後新しい製品の誕生が期待されております。

激変する事業環境の中、SDGsに代表される社会課題の解決など、企業に求められる使命・責任は大きくなりますが、会社の永続的な成長そして社会へのさらなる発展に向けユシログループの総力を結集し前進、そして進化し続けてまいります。

事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、コロナ・ショックから持ち直しつつある中で感染が拡大したオミクロン株による影響により各国の景気は減速傾向にあります。その様な状況下で発生したロシアによるウクライナ侵攻の出口が見えない中、原油価格の急激な高騰もあり世界経済は更に不透明感を増しております。また日本経済においても、ワクチンの普及やデルタ株のピークアウトにより行動制限の緩和が進められている中で発生したオミクロン株のまん延を受け、再び行動制限措置が適用され個人消費が減速しております。

このような環境下、主要顧客である自動車メーカーでは上期は順調に生産回復しておりましたが、下期に入り半導体不足及びコロナ感染による工場稼働停止の影響等もあり回復基調は緩やかになっております。利益面では、原油価格の高騰、為替の変動及び物流コストの上昇等により下期以降原材料価格が急激に上昇しており、価格転嫁を実施するも各拠点で多少ばらつきはありますが、売上原価率が前年と比較して2%～5%上昇しております。

その結果、売上高は前期比19.0%増の37,686百万円となりました。営業利益は前期比18.4%減の894百万円、経常利益は前期比1.7%増の1,543百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の取崩しの影響により前期比72.1%減の273百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益／ 1株当たり当期純利益



純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当額／配当性向



○セグメント情報 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

セグメント ハイライト

売上高につきましては、各セグメントにおいて前期と比較して増収となりました。しかしのセグメントにおいて前期と比較して減益となりました。

日本

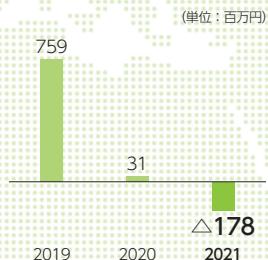
売上高構成比
42.9%

売上高は自動車生産台数の回復により増収となりました。しかし営業利益は急激な原材料価格の上昇に価格転嫁が追いつかず営業損失となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

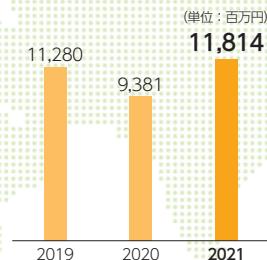
- ユシロ運送株式会社
- ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
- 日本シー・ビー・ケミカル株式会社

南北アメリカ

売上高構成比
31.4%

売上高は順調に回復致しましたが、営業利益は一部拠点での製造コスト上昇及び原材料価格高騰の影響で減益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc.[米国]
- クオリケム Inc.[米国]
- ユシロブラジルインダストリアケミカルLtda.[ブラジル]
- ユシロメキシコS.A. de C.V.[メキシコ]

持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

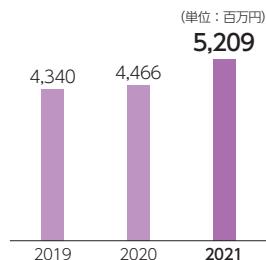
ながら、営業利益につきましては、原材料価格高騰の影響を受け、東南アジア／インドセグメント以外

中国



自動車生産の順調な回復により売上高は増収となったものの、原材料価格の高騰による影響で営業利益は減益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 啓東尤希路化学工業有限公司[中国]

東南アジア／インド



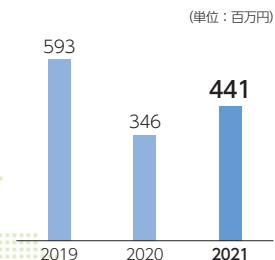
一部の国で実施している自動車購入時の減税措置効果もあり自動車生産は順調に回復しております。

その結果、原材料価格高騰の影響はありましたが、売上高・営業利益ともに増収・増益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

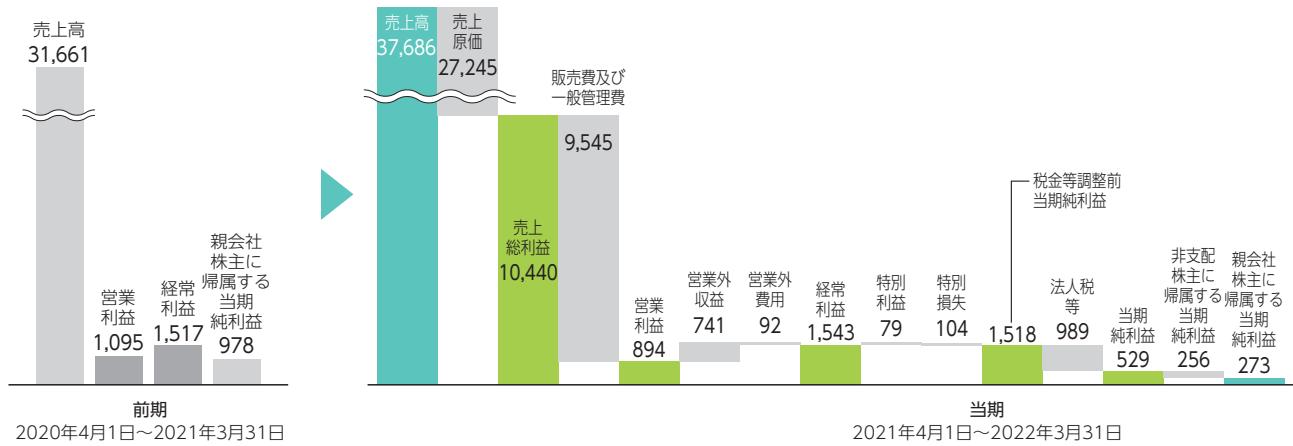
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- サイアムシー・ビー・ケミカル Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

○ 連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

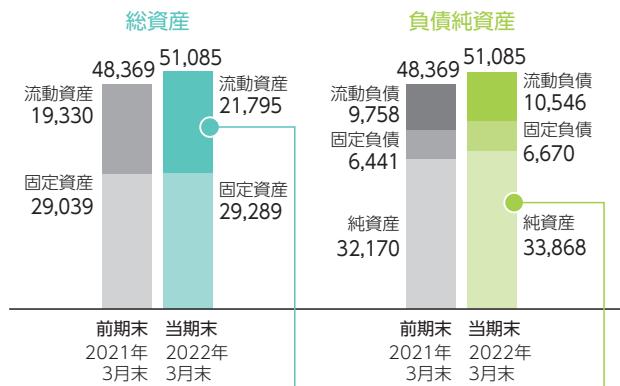
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



POINT

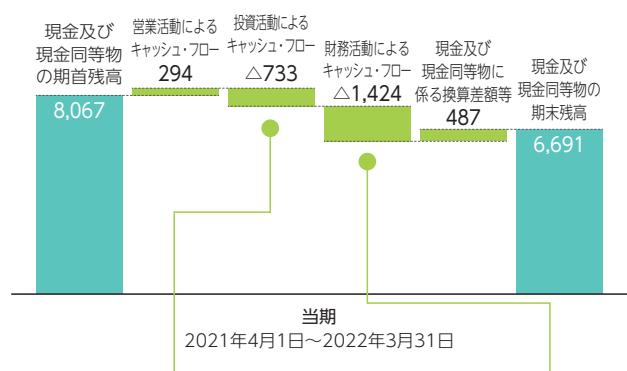
流動資産は「原材料及び貯蔵品」が増加したこと等により2,465百万円増加しました。

POINT

純資産は「為替換算調整勘定」が変動したこと等により1,698百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



POINT

投資活動によるキャッシュ・フローは「定期預金の預入による支出」581百万円等により支出超過となりました。

POINT

財務活動によるキャッシュ・フローは「長期借入金返済による支出」939百万円等により支出超過となりました。

○ 会社概要・株式の状況 (2022年3月31日現在)

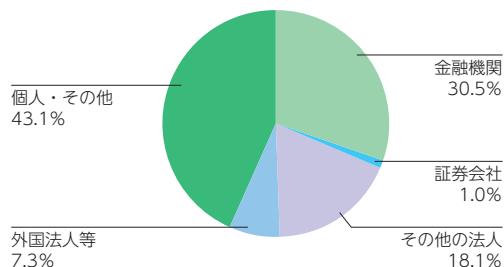
■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	314名(連結984名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,628名

所有者別株式分布状況



■ 役員 (2022年6月24日現在)

代表取締役社長	有坂 昌規
常務取締役	高橋 誠司
取締役	小林 一重
取締役	高倉 一利
取締役*	中野 雅文
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	杉山 敦子(現姓 松本)
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

*は社外取締役です。

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,305	9.59
日本生命保険相互会社	1,057	7.76
ユシロ化学工業取引先持株会	956	7.03
株式会社三井住友銀行	622	4.57
スズキ株式会社	549	4.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	494	3.63
ユシロ化学工業従業員持株会	432	3.18
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
ビービーエイチ ポストン フォー ノムラ ジャパン スモラー キャピタライゼーション ファンド 620065	267	1.96

*当社は、自己株式290千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.yushiro.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

○住所変更、単元未満株式の買取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。

本件に関するお問い合わせ先は、左記株主名簿管理人となります。

○未払い配当金の支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページリニューアルのご案内

当社ホームページでは、当社の事業をよりご理解いただけるよう、事業内容に加え、技術情報、IRやサステナビリティなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

ユシロ化学工業

検索



<https://www.yushiro.co.jp/>

 ユシロ化学工業株式会社

URL <https://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。